

2019年7月9日

**ジャガー・ランドローバー、電動化における取り組みを加速
英国キャッスル・ブロムウィッチを電動化車両の拠点にし、
フルバッテリーEVとしてジャガーのフラッグシップ・サルーン「XJ」を製造**



- ジャガー・ランドローバーは、英国キャッスル・ブロムウィッチで電気自動車(EV)を生産し、数千規模の雇用を創出
- キャッスル・ブロムウィッチで最初に生産されるモデルは、ジャガーのフラッグシップ・サルーン「XJ」の次世代フルバッテリーEVとなることを発表。現行「XJ」はラインオフ
- 大規模バッテリー生産工場を英国内に設けることで、英国をEモビリティの最先端に
- 英国内でのEV生産はジャガー・ランドローバーの電動化戦略の次なる一歩

2019年7月5日、英国キャッスル・ブロムウィッチ発： ジャガー・ランドローバーは、英国キャッスル・ブロムウィッチにある自動車製造工場で、電気自動車(EV)を製造する計画を発表しました。この発表は、2020年以降、ジャガーおよびランドローバーの全てのモデルに電動モデルの選択肢を設けお客様に提供するという、ジャガー・ランドローバーのコミットメントの実現に向けた重要なステップです。

ジャガー・ランドローバーの最高経営責任者(CEO)、ラルフ・スペッツ博士は、次のように述べています。

「将来のモビリティは確実に電動化に向かっており、明確なビジョンを持つ英国企業として、当社は英国で次世代のゼロ・エミッション車両を生産していくことを約束します。電気自動車の製造と、電気駆動システム(EDU: Electronic Drive Unit)、バッテリー・アッセンブリーを同じ場所に集約することで、ミッドランドを電動化の拠点とします。」

なお、キャッスル・ブロムウィッチで製造される最初の新型EVは、ジャガーのフラッグシップ・サルーン「XJ」になります。過去50年間にわたり、ビジネスリーダー、著名人、政治家、王室など多くの人々から愛され、現在8世代目となる「XJ」は、英国で設計、エンジニアリング、製造がされ、120か国以上に輸出されてきました。



50年もの間、業界初のイノベーションを多く生み出してきた「XJ」は高く評価されてきましたが、新型「XJ」でも、先代の優美なデザイン、インテリジェントなパフォーマンス、人々を魅了するラグジュアリーさなどの特徴を受け継いでいきます。

新しいフルバッテリーEVの製造には、「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー2019」にも選出された世界初のプレミアム・エレクトリック・パフォーマンス SUV「I-PACE」を手掛けたデザイン・チームおよび製品開発のスペシャリストたちが担当します。

今回の発表は、ジャガー・ランドローバーの電動化戦略の次なる一歩であり、英国で数千人規模の雇用を創出します。ジャガー・ランドローバーは、2019年1月に新たな施設および既存施設へ投資をし、バッテリーとEDUのアッセンブリーをミッドランドで行う計画を表明しました。これは資本投資計画に沿ったものです。

2020年に新たに稼働予定のハムズホールのバッテリー・アッセンブリー・センターは英国で最も革新的で最先端技術を集結させた施設で、15万ユニットの生産能力を誇ります。ジャガー・ランドローバーのEDUグローバル拠点であるウルバーハンプトンのエンジン・マニュファクチャリング・センター(EMC)とともに、ジャガーおよびランドローバーの次世代モデルの生産を支えます。

キャッスル・ブロムウィッチ工場が英国初のプレミアムEV工場となることは、その歴史において、最も重要な出来事です。7月後半には、ジャガー・ランドローバーの次世代アーキテクチャーである、Modular Longitudinal Architecture (MLA)に必要となる、新たな設備と技術を導入します。MLAは自社で設計およびエンジニアリングをしており、フルバッテリーEVやハイブリッド・モデルだけでなく、クリーンで効率的なディーゼルおよびガソリン・モデルにもフレキシブルに適用することができます。

ジャガー・ランドローバーの電動モデルのラインアップが拡充することで、お客様ひとりひとりのライフスタイルに合った車両を、幅広い選択肢の中から選択していただくことが可能になります。その一方で、お客様の購買につなげていくためには、課題も残されています。

ジャガー・ランドローバーの最高経営責任者(CEO)、ラルフ・スペッツ博士は、次のように述べています。

「私たち全員が必要とするレベルまでEVを進化させるには、高い利便性とお求めやすい価格であることが重要な条件となります。従来のように給油するのと同じくらい、容易に充電できるようにならなくてはなりません。お求めやすい価格は、車両製造工場に近い英国国内でバッテリーを生産すれば、海外からの輸送コストとリスクを回避できるため、成し遂げられると確信しています。英国には原材料があり、大学では研究が行われ、サプライヤーの基盤も確立しています。英国は最先端モビリティの開発・製造の拠点となり雇用を創出することも実現できるのです。」

ジャガー・ランドローバーは英国国内での電動モデル製造強化をしていくことを表明しましたが、英国に大規模なバッテリー生産拠点をつくるためには、政府や業界との協業が必要です。UK Battery Industrialisation Centre (UKBIC)と政府の「ファラデー・チャレンジ (Faraday Challenge)」と協力して、より小型で高密度、さらに廉価な次世代バッテリー技術の開発を目指します。こうした重要な取り組みは既存のサプライチェーンをサポートし成長を促すものであり、その結果、材料の海外依存も軽減することにつながります。

そして、英国国内でバッテリー生産を可能にし、自動車企業の需要が高まり、将来的に大規模な工場を引き付けることができます。

以上

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが2019年7月5日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

MEDIA INFORMATION



Jaguar PR social channels:

- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>; @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

Land Rover PR social channels:

- Facebook: <https://www.facebook.com/LandRoverJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/LandRoverJPN>; @LandRoverJPN
- Instagram: <https://www.instagram.com/landroverjpn>
- YouTube: <https://www.youtube.com/user/landroverchanneljp>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689

(9:00~18:00、土日祝日を除く)

ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568

(9:00~18:00、土日祝日を除く)